情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2025 年 3 月 6 日作成　1.1 版

研究課題名	肝発がん微小環境のシグナル動態に着目した肝がん診断・予測マーカーの開発
研究の対象	2000 年 9 月以降、2022 年 3 月までの期間に、横浜市立大学附属市民総合医療センター及び共同研究施設に肝疾患で受診した方
研究目的・方法	目的：肝がんの病態形成並びに難治性・治療抵抗性の仕組みの解明を目的とします。 方法：横浜市立大学附属市民総合医療センター及び共同研究施設で、肝疾患で受診した方について、既存パラフィン包埋肝組織・血清検体を用いて発がんと治療応答性に関連する予測マーカーを探索します。
研究期間	西暦 2022 年 10 月 20 日（機関の長の許可日）　～　西暦 2030 年3月３１日
研究に用いる試料・情報の種類	研究試料：検査・治療のために肝生検・肝切除術で得られたパラフィン包埋肝臓組織と通常の定期検査で採血した血液から分離した血清のうち残った血清を用います。本研究のために、通常検査以上の試料を採取することはありません。 試料情報：診断名、病歴、治療の内容、治療効果、副作用等の発生状況、検査データ、生存期間を診療録から収集します。
外部への試料・情報の提供	仮名化した肝組織および血清検体と臨床データを共同研究先の理化学研究所生命医科学研究センター細胞機能変換技術研究チームに提供し、測定・解析します。
外部からの試料・情報の取得と保管	該当しません。
研究組織	研究代表者：理化学研究所生命医科学研究センター　上級研究員　秦咸陽（しん かんよう） 分担研究者：横浜市立大学附属市民総合医療センター　准教授　野崎昭人（のざき あきと） 分担研究者：岐阜大学医学部附属病院　講師　白上洋平（しらかみ ようへい）

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒232-0024　横浜市南区浦舟町 4-57
横浜市立大学附属市民総合医療センター　消化器病センター　野崎昭人（のざき あきと）
電話番号：045－261-5656（代表）　　FAX：045－253－5348